

森の川自然散歩

2017年8月号



宜野湾の森に夏を告げる鳥がやって来た

上：林の中の小枝にとまったリュウキュウアカショウビン

アカショウビン（メモ）▶▶▶

- 沖縄島には5月頃からやってくる夏鳥。早朝や夕方に、森の中で「キョロ、キョロキョロロロ」という声で鳴きます。
- 体の大きさは全長約27cm、全身が赤褐色をしていますが、背面の腰のところは瑠璃色をしています。赤くて太いくちばしが目立つよ。
- 方言では「クカル」、「クッカルー」と呼ばれていて、この鳥が家に入ってくると、よくないことが起こるといわれています。
- 比屋良川沿いや森川公園、普天間飛行場西側の森などで見られます。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

(5) 森の中に散らばる貝の謎「オキナワヤマタニシ」

森川の泉の後ろ側の森の中には、おびただしい量のカタツムリの殻が転がっている。しかも、ほとんどが同じ種類なんだ。

この貝殻の正体は、オキナワヤマタニシというマイマイだ。生きてる貝の大きな特徴は、目玉は角の付け根にあって、フタを持っていること。

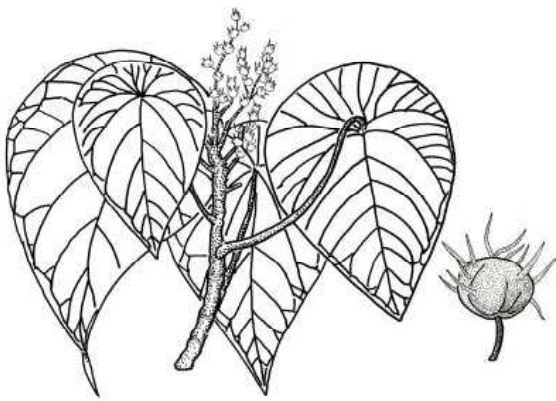
森川公園の森の中にある大量の貝殻は、なんでこんなにたくさん、あるのだろう。誰かが食べた跡？、それとも過去の大事件の証拠？。その謎は、まだ解けそうもありません。君も、貝殻をながめながら考えてみてはどうだろう。



◀生きてるオキナワヤマタニシ

森川公園8月の花ごよみ

オオバギ



- 高さ4～8mになる樹木。
- 葉の形は楕形で先がとがっている。長さは10～30cmと大きい。葉柄は長く、葉の中央につく。
- 雌雄異株で5月頃に羽車のような白い花が咲き、6月頃に、緑色をした球形の直径約15mmの実をつける。実には柔らかいトゲがある。
- 日当たりの良い開けた場所に生える。パイオニア植物のひとつ。
- 似た植物・アカメガシワ(葉柄のつくところが違う)

博物館で森川公園の見取図をもらって

自分で見つけた動物や植物をメモしよう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてね。

宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜1-25-1

Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

